

ノイマルクト劇場 + 市原佐都子/Q 『Madama Butterfly』

人間の生と性に関わる違和感を大胆かつ緻密に描く新世代の劇作家・演出家、市原佐都子。

彼女と、スイス・チューリヒのノイマルクト劇場の共同制作作品。

西洋／男性からの視点で日本／女性が描かれたジャコモ・プッチーニのオペラ『蝶々夫人』を原案に、

その構造をひっくり返し、日本／女性からの視点で西洋／男性を描き、人種やジェンダーなどの先入観を痛烈に問い直す。

2022年9月15日(木)19:00開演／18:30開場
16日(金)19:00開演／18:30開場
17日(土)14:00開演／13:30開場

ロームシアター京都 ノースホール

作・演出:市原佐都子

出演:竹中香子、Yan Balistoy、Sascha Ö.Soydan、Brandy Butler(映像のみ)

ドラマトウルク:Tine Milz

美術・衣裳:Stefan Britze

映像:Juan Ferrari

翻訳:オガワアヤ

※2022年2月26日(土)、27日(日)に予定していた公演の延期開催です。

チケット(全席自由・税込)

一般	3,500円
ユース(25歳以下)	2,000円
18歳以下	1,000円

※推奨年齢中学生以上 ※未就学児入場不可(託児サービスあり)。詳細はロームシアター京都WEBサイトをご覧ください。 ※ユース、18歳以下チケットにて観劇の際は、公演当日に受付にて証明書(学生証、免許証等)をご提示ください。
上演言語:日本語・英語・ドイツ語(日本語字幕あり)

発売日

会員先行(フレンズ・Club・京響友の会会員):2022年7月8日(金)10:00

一般:7月15日(金)10:00

チケット取扱

ロームシアター京都 オンラインチケット 24時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL. 075-746-3201

(窓口・電話とも 10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合があります

京都コンサートホール チケットカウンター

TEL. 075-711-3231

(窓口・電話とも 10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※臨時休館日を除く)

チケットぴあ <http://t.pia.jp>(Pコード:512-981)

お問い合わせ

ロームシアター京都チケットカウンター

TEL. 075-746-3201

製作:ノイマルクト劇場(スイス、チューリヒ)

共同製作:一般社団法人Q、シアター・コモンズ、チューリヒ・シアター・スペクタクル

制作協力:城崎国際アートセンター(豊岡市)

後援:在日スイス大使館

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業

(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)「JAPAN LIVE YELL project」

ステージ インキュベーション キョウト
KYOTO EXPERIMENT 2022 提携プログラム

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

JAPAN
LIVE YELL
project

Schweizerische Eidgenossenschaft
Confédération suisse
Confederazione Svizzera
Confederaziun svizra

Embassy of Switzerland in Japan
スイス大使館



市原佐都子/Satoko Ichihara

劇作家・演出家・小説家・城崎国際アートセンター芸術監督。1988年大阪府生まれ福岡育ち。桜美林大学にて演劇を学び、2011年よりQ始動。人間の行動や身体にまつわる生理、その違和感を独自の言語センスと身体感覚で捉えた劇作、演出を行う。2019年に初の小説集『マミの天使』を出版。同年『パッコスの信女-ホルスタインの雌』をあいちトリエンナーレにて初演。同作にて第64回岸田國士戯曲賞受賞。2021年、ノイマルクト劇場(チューリヒ)と共同制作した『Madama Butterfly』をチューリヒ・シアター・スペクタクル、ミュンヘン・シュピラート演劇祭にて上演。2022年1月にロームシアター京都レパートリーの創造にて『妖精の問題 デラックス』を上演。

豊岡公演(豊岡演劇祭2022)

2022年9月22日(木)~24日(土)

会場:城崎国際アートセンター

お問い合わせ先:豊岡演劇祭実行委員会事務局

Web:<https://toyooka-theaterfestival.jp/>

E-mail:toyooka.theaterfestival@gmail.com

TEL: 0796-21-9081(豊岡市大交流課)

日本ツアースタッフ

照明・映像:Karl Gärtner

音響:Susanne Affolter

技術統括:Peter Meier

小道具・大道具:Cristiano Remo

プロダクションマネージャー:Stéphane Noel (Materialise)

舞台監督:さかいまお

照明:葭田野浩介(RYU)

音響:瀧口翔

映像:小西小多郎

技術コーディネーター:夏目雅也

制作:眞鍋隼介、寺田貴美子(ロームシアター京都)



〒606-8342
京都市左京区岡崎最勝寺町13

TEL. 075-771-6051(代表)

075-746-3201(チケットカウンター)

FAX. 075-746-3366

<https://rohmtheatreyokyo.jp/>

※営業・開館時間は状況により変更することがあります。
最新情報はお問合せください。

- 京都市営地下鉄東西線
「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- 市バス32・46系統
「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 市バス5・86系統
「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- 市バス31・201・202・203・206系統
「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

ご来場前に、ロームシアター京都WEBサイトにて「ロームシアター京都主催事業公演実施時のご来場に際して」(新型コロナウイルス感染予防対策について)を必ずご確認ください。

Madama Butterfly

ノイマルクト劇場

十
市原佐都子／Q



ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

2022年9月15日(木)～17日(土)
ロームシアター京都 ノースホール